

煮卵「いちど食べたらもうたま卵」を海外へ

企業紹介

株式会社 ちさと東

- 代表者： 熊谷 安倫
- 所在地： 下伊那郡阿智村阿智556-1
- 従業員数： 15名
- 事業内容： 農産物食品加工・営業卸販売 他
- 連絡先： 0265-43-3938



工場外観

(株)ちさと東は、地産地消を源流とし安全・安心・本物にこだわった農産加工品を製造販売しています。社名は信州阿智村智里東の地名から「ちさと東」と名付けました。これからも南信州の自然にあふれた山里で収穫された四季折々の農作物を、古くから地元で伝わる製法にこだわり加工提供して参ります。

支援を受けて

阿智村商工会をはじめ、各位のご支援を頂き生産体制が整いましたことに深く感謝申し上げます。

今後の展開として、国内市場への更なる拡販はもとより、海外市場にも目を向けて輸出を具現化し、一層の拡大を図っていく所存です。また、近将来にはHACCP認定工場を目指しておりますのでご支援をお願いいたします。



熊谷社長

支援概要

■企業の現状・課題及び支援の経緯

商品「いちど食べたらもうたま卵」は、地道な営業活動や長期保存技術とその美味しさから、当社商品群の中でも空前のヒット商品に成長し、現在の生産量では需要に追いつけなくなった。

この対策として、「28年度補正予算 ものづくり補助金」に応募し採択され、生産効率改善のためのレイアウト改善による作業動線の大幅な短縮(126mを12mに短縮)および新規設備導入による品質の安定化と向上を実施、生産性の向上の1.5倍化が実現された。

この結果、煮卵の生産数は月45,000個から、69,000個に増産することができ、納入先への納期遅延によるご迷惑をお掛けすることを回避できた。

これを契機として、更なる受注拡大のために、国内販売を堅調に維持拡大しながら、卵需要が多い台湾市場をはじめ、東南アジア地域への展開の可能性についての相談と、輸出先の輸入制約等を含めた中で、輸出の可能性についての支援要請を受けた。

■実施した支援内容

- ①輸出に係るインボイス等の必要書類について
- ②生産能力(輸出対応数)の把握について
- ③各国の市場単価に対する競争力について
- ④信頼のおけるパートナー(物流、商流)と契約をする際の
特別注意点について

⑤鳥インフルエンザの問題について

鳥インフルエンザは、各国で恒常的に発生している。日本国内で1ヶ所でも発生すると日本産の家禽類の肉や卵は即禁輸対象となり、輸出入商材としては、リスクの高い商品であることを説明。(日本も同じ処置を取っている)

⑥イスラム圏のマレーシアや、シンガポールへの輸出については、ハラール規制があり、ハラール規制に則った食材の処理や豚由来の食材、添加物、飼料の使用禁止等の詳細を把握し対応が必要。

⑦東日本大震災の影響(台湾 2017年9月現在)について

茨城、千葉、群馬、福島県の震災近県の卵の輸入禁止継続中。

⑧その他必要書類等について

検疫証明書・放射性物質・残留農薬・重金属、汚染物質等の提出要求がある。



名物煮卵「いちど食べたら もうたま卵」

支援の結果及び今後の展開等

- ・輸出検討先の輸入規制や、ハラール規制、放射性物質検査証明等、輸出に係る要求条件をご理解いただいた。
- ・今後は、比較的規制が緩く、卵輸入地域である香港市場への参入支援を実施する。

支援を実施して

上席専門経営支援員 田中照光

阿智村商工会
今井毅副統括経営支援員

(株)ちさと東の開発品「いちど食べたらもうたま卵」は、ウィットにとんだネーミングや商品力が、とても高い評価を受け、受注増進している。海外顧客にはこのようなネーミングが好まれ、国別の表記を提案し、輸出の実現に向けてサポートしたいと思う。

